

県本部・活動拠点本部会議（8月18日・夕）議事要旨

■決まったこと、全体への連絡事項

- 避難行動要支援者等に関する調査の着手（八代）：64歳以上の障害者、85歳以上の健常高齢者、支援が必要な高齢者、ケアマネジャーや相談員がいない単身者等（約120名）を対象とした調査を八代市と協力して開始。8月20日からの本格運用に向け、翌日15時より各県DWATリーダー等を対象としたオリエンテーション（市・全社協・保健師等による解説）を実施。
- 避難所定例巡回の一時停止とデーター一本化：調査実施期間中、避難所の定例巡回は一時ストップする。日赤・市健康増進推進課・DWATが保有する要配慮者リストの重複を解消し、八代市役所にてデータを統合・一本化して相互連携を図る。
- 在宅訪問用「身分証明書」の発行要請：DWATが八代市の委託を受けて戸別訪問調査を行っていることを証明するため、市の委託証明（腕章等）の用意を市へ要請・決定した。
- 避難所移転・再編スケジュールの確定（氷川）：氷川中学校避難所の受け入れを8月24日より可能とし、学校再開に向け8月26日までに教室を空ける。竜北中学校への移行は8月26日から開始するため、医療・行政・福祉が連携して円滑な引越し・調整を推進する。
- 宇城地域での全世帯意向調査（8月20日～9月5日）：各避難所の全世帯（約400～500世帯）を対象に、退所・移行に関するアセスメント調査を実施する。10時～20時の時間帯で3チーム体制を組み、夕方以降は熊本DWATが対応する。

■各拠点からの報告 ※特記事項

● 八代地域

- 避難所の約2/3を巡回。個別案件（新規7件含む）の約半数を対応完了。

● 宇城地域

- 福祉避難所「翠昌園」の受け入れ・特例ショートステイ状況（定員50名＋ショート50名）について施設側と協議。有料老人ホーム退所となった58歳要介護・生活保護男性（自宅全壊・車椅子）のケースにつき、ケアマネジャーと連携し「みなし仮設」等への移行を検討。

● 氷川地域

- 本日アセスメント61件をシステム（Kintone）に入力完了。避難者336名中159名（累計）のアセスメントを取得済み。通信・PC環境を補助し明日～明後日までに情報共有体制を確立する。
- 避難所移転と行政説明：明日から3日間、夜間（19:30～20:30）に各避難所で住民向け行政説明会を開催。8月21日には福祉避難所（氷川公民館）の比較的元気な避難者に対し、氷川中学校等への移動に関する説明・説得を行う。明日公民館へ2名新規入所予定。

■共有事項・確認事項

- DWAT 隊員の熱中症・健康管理対策：在宅訪問の増加に伴い、短距離の車移動と降車・訪問の繰り返しにより「車内が冷える前に次の訪問となる」ため隊員の消耗が激しい。大分 DWAT の提案により「1 名が車内に残リエアコンを入れたまま待機し、2 名で訪問する」体制を共有した。

■今後検討が必要な事項

1. 避難所移転（氷川町）における過密スケジュール緩和：氷川中学校から竜北中学校への 1 日限りの集団引っ越し（8 月 26 日）に伴う避難者・要配慮者の混乱防止、および移転・移動支援体制の具体的すり合わせ。
2. 複雑困難ケースの出口支援（みなし仮設等）：住居全壊、アルコール・喫煙トラブル、生活保護等の背景を持つ要介護者に対し、みなし仮設の活用や広域での受け入れ先開拓を推進すること。